

今年のトップ10を決めるのはあなた

昭和村 十大ニュース 大募集

SHOWA TOP NEWS 10 -2022-



昭和村では、令和4年に村内で起きたニュースを記録に残すため、村民の皆さま方に「昭和村十大ニュース」を選んでいただきます。

令和4年の昭和村の歴史に何を刻むかは、あなたの投票次第です！

☎ 総務課 企画創生係 ☎ 42-7717

● 応募方法 「十大ニュース候補」の中から10項目を選び（項目番号を用紙に記入）、別紙の応募用紙等に必要事項を明記してご応募下さい。

● 応募〆切 令和5年1月6日（金）

● 応募先（ウェブフォームから応募） <https://s.showavill.jp/top10news2022>

パソコンからは、上記のURLを入力してください。
スマートフォンタブレットからは、右のQRコードを読み込んでください。



（郵送・持参による応募） 968-0103 昭和村大字下中津川字中島 652

昭和村役場総務課企画創生係内「昭和村十大ニュース」係

（FAXによる応募） 0241-57-3044

● 選定方法 投票の多い順（最も選択された項目順）に十大ニュースとします。

● 賞品 昭和村スタンプ会商品券（総額3万円分）

※ 10項目全体的の中した方に商品券を一人5千円分贈呈します。6名以上の場合は、抽選ありにて決定します。

※ 9項目以下の的中した方には、各的中項目の人数を考慮（抽選あり）し、予算の範囲内で商品券を贈呈します。

= 令和4年 昭和村十大ニュース候補 =

1. 真冬の成人式

新型コロナウイルスの影響で、延期となっていた成人式が1月9日に行われ、新成人6名が出席した。降雪を考慮して夏に行われていますが、本村ではもしかすると最後の真冬の成人式となったかもしれません。

2. 昭和村 LINE 公式アカウントを開設

村は、LINEの公式アカウントを開設し、広報しようわのデジタル配信や、災害時の迅速な情報の配信に活用している。令和4年12月時点には、人口の約26%の方が登録している。

3. 全国初公道での除雪車の遠隔操作による除雪作業の実施

国の交付金を活用し、公道（安全確保のため封鎖）での遠隔操作による除雪の実証事業が行われた。村は、最終的に除雪車両の自動運転を視野に令和4年度も実証を行う。

▶ 次頁に続きます。

4. 口万 50 EDITITON OASHI が完成、輸出へ

茨城県から移住し米作りに取り組む戸頃さん（大芦）が、花泉酒造（南会津町）と協力し、村内で栽培した酒米を使用した日本酒を完成させた。村内での限定販売分は 2 千本で、海外にも輸出した。

5. 新型コロナウイルスワクチン接種進む

2 月 17 日、昭和村公民館において 3 回目となる新型コロナウイルスワクチンの集団接種が行われた。64 歳以下については、3 月 24 日に実施。以降、7 月から 9 月にかけて 65 歳以上の 4 回目接種。65 歳以上の 5 回目の接種と、64 歳以下の 4 回目接種は 11 月下旬から 12 月中旬にかけて行われた。

6. 昭和小・長谷川美桜さん書きぞめ賞を 2 年連続受賞

（一財）福島県教育会館が主催する「第 66 回福島県書きぞめ展」において昭和小 5 年の長谷川美桜さん（下中津川）が上から 3 番目の賞となる「書きぞめ賞」を 2 年連続で受賞した。

7. 寒波が度々到来。豪雪に見舞われる

2 月 22 日、村は豪雪対策本部を設置した。例年とは違った降り方で村内では、軒先が折れる車庫や倉庫・空き家が目立った。

8. 人口社会増加率、全国で 15 位

（一社）持続可能な地域社会総合研究所の分析によれば、2020 年と 2015 年の国勢調査をもとに分析した社会増加率が全国の市区町村で 15 番目に高い結果となった。過疎指定市町村に限ると全国で 8 番目となる。

9. 滝谷建設工業株式会社（三島町）より多額の寄附

4 月 4 日、三島町の本拠を置く滝谷建設工業株式会社より 500 万円の寄附が村に贈られた。頂戴した寄附は、地域の活性化事業など、村の抱える課題解決に活用する。

10. 昭和小学校少年消防クラブが「消防庁長官賞」を受賞

2021 年度の優良な少年消防クラブを表彰する「消防庁長官賞」を昭和小消防クラブが受賞した。学校の防火活動や幼年消防クラブとの合同パレードなどの活動が評価されたもの。

11. かすみ草の産地形成に寄与された方が、農事功績者表彰を受章

令和 3 年度農事功績者表彰事業において、本村のかすみ草栽培が本格化する昭和 62 年当時から携わり栽培指導を行った星佐多男さん（南会津町）が「緑白綬有功章」を受章された。

12. 昭和村の素材が美しい村連合のコンテストで入賞

本村も加盟する日本で最も美しい村連合が主催するコンテストで、昭和村の産品「干し塩わらび」を使用したレシピ『干し塩わらびの彩りマリネ』が特選、『干し塩わらびのブルスケッタ』が入選となった。また、日本で美しい村フォトコンテスト 2021 で喰丸小を被写体とした写真が特賞に選ばれた。

13. 「かすみの教習所」が開校

4 月 27 日、昭和かすみ草振興協議会による「かすみの教習所」がスタートした。今年は、4 組 6 名が受講する。

14. ふくしま SHOW 放映、反響大きく村内賑わう

4 月 27 日、テレビユー福島の地域情報バラエティ番組「ふくしま SHOW」にて、昭和村が紹介された。番組内で紹介された飲食店は、ゴールデンウィークにかけて行列ができるなど反響が大きかった。

▶ 次頁に続きます。

15. 舟木村政 2 期目がスタート

任期満了に伴う、村長選挙では、現職の舟木幸一が立候補し、無投票で再選し、2 期目となる舟木村政がスタート。任期は、令和 4 年から令和 8 年までの 4 年間。

16. ポケモン・ラッキーのポケふたが贈られる

5 月 11 日、福島県庁において、株式会社ポケモンより、ふくしま応援ポケモン「ラッキー」をあしらったマンホールのふた「ポケふた」が村に贈られた。現在は、道の駅内に設置されている。

17. 小学生がヤマメの放流に参加

5 月 20 日、野尻川非出資漁業協同組合によるヤマメの放流事業に昭和小学校 1・2 年生が参加した。漁協では、定期的に稚魚の放流を行っている。

18. 日本で最も美しい村連合活動で、道路を清掃

5 月 20 日に、観光担当課が中心となり国道 400 号舟鼻峠の清掃活動を実施した。また、10 月 15 日には、昭和村役場職員会による新鳥居峠の約 3km の区間のごみ拾いが行われた。

19. 教育長に栗村良輔氏が着任

5 月 21 日より、教育長として、栗村良輔氏が着任した。出身は、喜多方市塩川町。経歴は、教諭として県内で 30 年間勤務した。退職後、湯川村教育委員会で社会教育事業や公民館事業の企画・運営に従事した。

20. 小学校の運動会単独開催

5 月 28 日、昭和小学校で運動会が開催された。これまでは、小学校・中学校、村が合同で総合運動会を開催していたが、コロナ禍とあって小学校単独での開催となった。

21. 栗城照美さん教育功労者表彰を受賞

教育委員の栗城照美さん（野尻）に福島県市町村教育委員会連絡協議会から表彰状が贈られた。

22. 株式会社モンベルとの包括連携協定を締結

アウトドア用品の製造販売を手掛ける株式会社モンベルと、包括連携協定を締結しました。連携協定では、アウトドア活動等の促進を通じた地域の活性化と村民生活の質の向上を目的としています。また、会津地方振興局と会津地域 13 市町村で「人生 100 年時代 会津・モンベル広域連携共同宣言」をしました。

23. マイマイガ大量発生の予兆

6 月中旬ごろから村内において、マイマイガの目撃情報が多数寄せられた。マイマイガは 10 年周期で大発生するといわれており、あと数年でその周期となる。村では、予防のために駆除方法などを広報した。

24. コネクト・昭和はじまる

6 月末より、NPO 法人芋麻倶楽部が実施するコネクト昭和が始まった。秋口まで、各集落の方を講師に、思い出や歴史、暮らしの知恵などを聞きながらフィールドワークが行われた。

25. ポケモン・ラッキー公園が開園！

6 月 28 日、道の駅からむし織の里しょうわ内に、株式会社ポケモンより寄贈を受け、整備を進めていた「ラッキー公園」が開園しました。

26. 風力発電の開発計画が急浮上、反対運動も

日立造船株式会社(本社:大阪府)による「(仮称)会津大沼風力発電事業」の計画段階環境配慮書の縦覧が7月4日から始まり、村内に衝撃が走った。最大40基の風車を整備する計画で近隣の4町村にまたがる大規模な計画で、舟木村長も反対を表明したほか、住民らによる反対運動も行われた。結果、事業計画は、中止(白紙撤回)となった。

27. 会津権利擁護・成年後見センターが開設

7月20日、権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関として、「会津権利擁護・成年後見センター」が会津地域の11市町村で開設した。これにより、成年後見制度の利用促進が期待される。

28. 3年ぶりのからむし織の里フェア開催

7月23日、3年ぶりとなる「第35回からむし織の里フェア」が開催された。コロナの感染防止対策を徹底した上での開催となった。

29. 保育所幼年消防クラブら表彰受賞

7月25日、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部の「防火委員会長表彰」が保育所幼年消防クラブに贈られた。今回の表彰は、これまでの防火パレードへの参加などが認められたもの。

30. 草加市小学校2校が自然教室で来村

7月27日に、草加市立栄小学校、8月3日に草加市立氷川小学校が自然教室で来村した。当初は4校の受け入れを予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となった。

31. 博士トンネルの銘板除幕

7月27日、国道401号博士トンネルの本体工事が終わり、昭和村の銘板除幕式が行われた。銘板は舟木村長が揮毫しており、会津美里町側は、杉山会津美里町長が揮毫した。

32. おちゃっこランチ、トライアル

お盆期間中に、旧五十嵐光作商店(大芦)にて、大芦企画株式会社がランチ提供などを行った。秋口には、居酒屋の試験営業も行うなど、シェアハウスと合わせて交流の場づくりが試行されている。

33. ハタチの成人行われ、4名が参加

成人年齢が4月に引き下げられたが、本村では、これまで通り「その年度内に20歳になる方」を対象として成人式を実施することとしており、今年は8月15日に行われ4名が参加した。

34. からむしの衣装を纏い、舞を奉納

8月27日、氣多神社(小中津川)とからむし畑(大芦)で、臼井万紀子さん(京都府在住)が舞を奉納した。舞の奉納は、臼井さんが、「長年にわたり大変な手仕事や技術を伝承している昭和村の方々へ感謝とお礼の気持ちを伝えたい」とのことで実現したもの。

35. 個人県民税完納3年連続。県知事感謝状授与

8月31日村長室において、個人県民税の完納を讃える知事感謝状が授与された。本村は、3年連続での表彰となった。

36. 県知事が来村、移住者らと懇談

9月6日、内堀福島県知事が来村し、チャランドリー井戸端(下中津川)で、移住者らと懇談した。NPO法人苧麻倶楽部マネージャー 和泉さん、有限会社ネイチャーツアーズ 代表取締役 戸頃さん、大芦企画株式会社代表取締役 沼上さんが参加した。

37. 福島県農業賞に菅家博之さん

第 63 回福島県農業賞の新規就農部門において、菅家博之さん(小野川)が農業賞を受賞した。この度の受賞は、菅家さんの就農後に短期間で急成長したモデル経営としての実績が高く評価されたもの。

38. 喰丸小で自然環境魅力発信巡回パネル展

9月3日から喰丸小において、株式会社モンベルとの連携協定を契機とした「自然環境魅力発信巡回パネル展」が行われた。初日には、高野会津地方振興局長など関係者によりテープカットが行われた。

39. 生誕 300 年を記念し、「佐々木松夕」展示会開催

9月17日から23日にかけて、松山ゆかりの画師である「佐々木松夕」の作品約70点が野尻徳林寺で展示された。なお、この事業は、村未来を描く地域団体応援事業(地域未来創生事業)を活用。

40. 交通死亡事故ゼロ 3000 日達成

9月20日、交通死亡事故ゼロ3000日達成により、福島県交通対策協議会長表彰の伝達式が役場議場で行われた。本村では、平成26年7月1日の転落事故以来、死亡事故は発生していない。

41. 教育委員に五十嵐吉弘さん

10月3日、村長室において、五十嵐吉弘さん(大芦)へ昭和村教育委員の辞令が交付された。任期は、令和4年10月1日から令和8年9月30日までの4年間。

42. 木製すべり台の寄附

10月14日、本村出身の羽染新喜さん、つぎさん(千葉県佐倉市)より、手造りの木製すべり台や木のおもちゃを寄附頂いた。

43. 4年ぶりの消防団検閲式を挙行

10月16日、昭和小学校校庭において、昭和村消防団秋季検閲式が4年ぶりに行われた。春季は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となったがポンプや消火栓の点検など有事への備えは徹底された。

44. シニア向け、デジタル講座・スマホ教室を講座

10月18日、すみれ荘において、「デジタルで便利に?難しくなる?これからの暮らし」と題したデジタル講座を開催したほか、11月と12月には、スマートフォンの使い方を学ぶ教室が開催された。

45. 小林政利さん、100 歳

10月20日、小林政利さん(中向)が満100歳を迎えた。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、贈呈式は行われず、入所している昭和ホームで、関係者によるお祝いの会が行われた。

46. 農業委員会畑地化暗渠施工を実証

10月25日、昭和村農業委員会が主催し、大芦地区でカスミソウの作付けを行う圃場の暗渠施工の実証が行われた。新規就農者の増加に対して、不足する農地をより良い条件とするために期待される。

47. 昭和小・中学校文化祭開催

10月29日、昭和村公民館において初めてとなる昭和小学校・中学校合同文化祭が開催された。今年度合同で実施した発表は全員合唱のみであった。

▶ 次頁に続きます。

48. 星為夫さん、黄綬褒章を受章

11月3日公表の令和4年秋の褒章において、星為夫さん(大芦)が、黄綬褒章を受章された。今回の受章は、長きにわたるからむし生産技術者として、からむし生産技術保存協会会長も務めるなど職務に精励したことが認められたもの。

49. 3年ぶりの開催「農産物品評会」

11月3日、村民文化祭にあわせて、「農産物品評会・みのりのフェスティバル」が開催された。3年ぶりの開催とあって、例年より出品数は少なかったものの、その中から16点が選ばれ賞が贈られた。

50. かすみ草の販売額が6億円を突破

JA会津よつばかすみ草部会によると、11月6日カスミソウの販売累計額が6億円を突破した。昨年度5億円突破記念式典を開催したところであるが、1年でさらに約4千万円増となった。

51. 大芦ダイモチ引き木遣りを大玉村で披露

11月13日、大玉村で開催された「日本で最も美しい村連合」福島県内加盟5町村合同物産展において、大芦ダイモチ引き木遣りが勇壮に披露された。また、あわせて村の物産品やグルメが販売された。

52. 矢ノ原地区の公共インフラWi-Fiの整備が完了

整備を進めていた矢ノ原地内の、Wi-Fi整備が完了し、11月中旬より試験電波を発信した。全部で12のアクセスポイント(接続拠点)を設置。令和5年度からは、村内全域の屋外居住エリアへの整備がはじまる。

53. 本名萩くん、櫻岡正俊さん、ふくしま駅伝力走

11月20日に第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催され、本名萩君(下中津川出身)が10区9.3kmを走り、区間11位。また、櫻岡正俊さん(下中津川)が13区4.8kmを走り、区間28位となった。全体としては52チーム中総合35位と健闘した。

54. マイナンバーカード市町村別交付率県内第1位(11月末時点)

総務省によると、本村の11月末時点のマイナンバーカードの交付率が72.6%で、県内第1位となった。この交付率は、全国で26番目となっている。県内では次いで磐梯町の70.7%、桑折町の66.6%となっている。

55. 12月1日に無火災3年、達成

12月1日に本村は、無火災3年を達成した。12月2日には、消防長から贈られた表彰状を持参し、広域消防昭和出張所所長が村長に報告した。なお、8月3日には無火災1000日を達成している。

【注意事項】

- ・1番～55番の中から10項目を選び、項目番号を応募用紙にご記入ください。
- ・10項目未満、超過の記入や所定の方法以外の応募は無効となりますので、ご注意ください。

お申し込み一覧

昭和村十大ニュース応募用紙 ▶ 総務課 企画創生係

(〆切:1月6日(金))

十大ニュース候補の中から必ず10項目を選び項目番号をご記入ください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(応募者情報)

住 所	
氏 名	
職 業	
電 話 番 号	

令和5年産 そば種子購入補助事業申し込み ▶

産業建設課 産業係

(〆切:1月18日(水))

お 名 前		(個人 ・ 団体)
住 所	昭和村大字	
電 話 番 号		
作 付 け 予 定 面 積	水田	m ²
	畑地	m ²
	合計	m ²
自 家 採 取 の 有 無	来年の播種用の自家採取分がある場合は記入してください。 (有 → ____kg ・ 無)	